

【地域や時代背景】

現在、こだま青年会議所は40名程度のメンバーと共に活動をしております。所属しているメンバーは多様な業種、年代にわたります。しかしながら、それぞれのメンバー同士が深く交流し友情を深める機会が不足しています。地域全体の活気ある運動を継続して行うにはそれぞれの地域から多くの仲間が集まり、運動を展開していく必要があります。仲間を集め拡大していく為にJCの魅力を地域に広げ、興味を持たせることが重要です。

【背景から事業を行う目的】

メンバーそれぞれがJCを通して、友情を育みこの先の地域での仲間づくりのきっかけとして交流を主導します。まず、小規模な交流を行う事で参加者同士の繋がりを深め、その後の全体での交流会参加のきっかけとします。また、全体での交流会は年4回行い、それぞれでメンバー間の結束を深める為の設え用意し、結束を強める場とします。拡大については仲間を募るべく、各地域からの拡大候補者の収集を行います。30名の拡大の達成を目指し、多方面からのアプローチを行い、JCの理解と興味を持たせる共に、ニーズを把握しコンセンサスをとる事で、入会候補者を入会まで導きます。また、対象者との関係値が高いメンバーを積極的に同席させ、入会後の関係も同時に意識していきます。さらに、JCを知ってもらうきっかけとして、こだまJCの紹介を新入会員と共に作り交流機会の創出と魅力的な人材を発信いたします。最終的には9月例会において新入会員と共に、次年度に繋がる様、事業を構築していきます。

【事業の結果】

メンバー内の友情が育まれることにより、会全体の結束力が高まります。また、生涯を通じての仲間づくりの場としてJCが存在感を持つ事で、これから入会を検討する人たちに向けてのアピールにもなります。拡大は、単年度で終わる物ではなく継続して行っていく必要がある為、各地から新入会員を募る事で、その後の継続的な仲間づくりに繋がっていきます。交流と拡大が持続的に繋がる事で、新しいメンバーを迎え入れる雰囲気づくりと、その後の参加率を高める結果となります。

【結びに】

本委員会に与えられた役割は、この地域の交流を生み出し、未来の仲間を集め、地域の更なる発展のための活気ある事業を行っていくための下地を作り上げることだと考えています。私は今年度で卒業してしまいましたが、JCを通して出会った多くの仲間との関係は、卒業後も決して失われるものではありません。JCがこの先も継続してあり続ける限り、そのような仲間の繋がりが、地域にあふれていき、この地域の魅力と強さに繋がっていくと考えます。これからのJC運動が続き、多くの仲間と友情を育み共に成長し、地域の発展を担う人材となっていく事を強く望み私の最後の一年とさせていただきます。

【事業計画】

1. 9月例会の開催
2. 年4回の交流会の開催
3. 拡大協議会の開催
4. 30名拡大

【事業予算】

40,000円